



injured ZERO PROJECT Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with Mercedes-Benz 2015.08.01

去る8月1日に自動車評論家/レーシングドライバーの太田哲也氏を校長とするドライビングレッスンが袖ヶ浦フォレストレースウェイで開催された。

文●高桑秀典 写真●神村 聖/Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局
text by TAKAKUWA Hidenori photos by KAMIMURA Satoshi/Tetsuya OTA Sports Driving School Office
主催●NPO法人 KEEP ON RACING injured ZEROプロジェクト/Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局
協力●メルセデス・ベンツ日本/三菱ふそうトラック・バス/ジャパンビバレッジ/伊藤園他



座学



太田校長は摩擦円を使ったタイヤのグリップ変化や荷重移動の重要性を講義。メルセデス・ベンツ日本製品企画・マーケティング部製品広報課マネージャー嶋田智美さんは、メルセデス・ベンツが考えている安全性についてを講義。



体験試乗会



レッスン参加者によるパドック特設コースでの体験試乗会を実施。パイロンスラロームを中心としたコースにて、メルセデス AMG GT Sを走らせることができた。受付時には TEZZO BASE 速読メカニックによる走行前点検講義も行われた。

サーキットタクシー&サーキットサファリ



サーキットタクシーでは、太田校長、砂子講師、斎藤講師がメルセデス AMG GT Sとメルセデス AMG C63Sをハイスピードでドライブ。サーキットサファリでは、池沢早人師さん、吉田由美さんがドライバーを担当した。

EVENT REPORT



SAMPLE

「交通安全を楽しく学ぶ」ためのドライビングレッスン

Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON は、国土交通省後援の「injured ZERO」プロジェクトの一環として開催されており、「安全運転を、楽しく学ぶ」をテーマに、一般道における死亡・負傷事故をゼロとすることを目標としている。クルマの運転が上手くなれば安全につながるという基本理念のもと、座学と実践で安全運転と交通マナーを楽しく学んでいるのだ。

先日、当スクールの運営団体である株式会社スポーツドライビングジャパンが、国土交通省から平成27年度事故防止対策支援推進事業（社内安全教育の実施に対する支援）の対象事業者として認定されたが、これは当スクールが、ドライビングレッスンを通じ、「レーシングドライバーによる運転者のヒューマンエラー事故防止コン

サルティング」を推進してきたことを評価された結果だといえる。安全運転コンサルティングに関するメニューの基本となっているのは、以下のようなことだ。交通事故を減らすためには、クルマを自動運転化したり、道路を改善したりしてアクティブセーフティおよびパッシブセーフティといった要素を高める方向性だけでなく、クルマの運転者である「人」の教育や意識改革といった要素も欠かすことができないという考えだ。その想いに基づいて、運転技術、マナー、安全への意識を向上させることを目的としたドライビングレッスンを開催しているのであった。

さて、メルセデス・ベンツ日本と当スクールのコラボレーションによるスポーツドライビングスクールは昨年も開催され、本誌でもレポートを掲載し

ている。ご存知の方も多いように、メルセデス・ベンツは、ガソリン自動車を発明した会社として、いつの時代にも最善のクルマづくりを目指してきた。メルセデス・ベンツが考える最善のクルマづくりとは、すなわち「世界最高レベルの安全なクルマを造る」ということである。衝撃吸収構造ボディ、ABS、エアバッグといった、現在、安全性における世界標準となっている様々な技術を開発したのはメルセデス・ベンツだ。

また、メルセデス・ベンツでは、生理学/心理学の面から運転者のストレスの軽減を図る「ドライバー健康安全性」という考え方をもとに、ドライバーを疲れさせないという「運転者」に着目した安全性も追求している。つまり、メルセデス・ベンツが考える安全に対する様々な取り組みと当スクー

ルの趣旨である「人」の教育や意識改革を重要視した基本コンセプトが一致した点で、再びコラボレーションが実現することとなった。

8月1日のスクールでは、メルセデス・ベンツ日本の協力により、メルセデス AMG GT S やメルセデス AMG C63 などをはじめとする豪華なラインナップが教習車として提供された。参加者たちは体験試乗会やサーキットタクシーにて、最新のメルセデス AMG およびメルセデス・ベンツでしか味わうことができない卓越したドライブフィールを堪能することができた。

なお、今回は9月19日に袖ヶ浦フォレストレースウェイにて開催される。教習車（日産 エクストレイル）で講師がコースの走り方などを解説する新企画「サーキットクルーズガイド」も実施する予定だ。

アドバンスレックラス



自己流のドライビングスタイルを改善したいと思っているドライバーにオススメのアドバンスレックラスは、先導車に続いて本コースを慣熟走行した後、午前中の座学で習ったことを意識しながらフリー走行を実施。

ベーシックレックラス



スラローム走行レッスンに関する説明を受け、パドック特設コースを走行。その後、先導車付きでの本コースも走った。今回は伊勢丹新宿店が父の日のプレゼントとして「夢のレーサー体験」を企画し、プレゼントされた方々もベーシックレックラスを受講。

Next Car Generationが躍動



20代のメンバー (Next Car Generation) が参加者インタビューをするなどの情報活動を行った。メルセデス・ベンツ日本の嶋田さんにもインタビューし、「昨今のメルセデス・ユーザーは、駆動方式にこだわらないので、CLAやGLAのようなモデルも人気があります」といった最新のメルセデス・ベンツ事情を引き出していた。

メルセデス AMG GT Sインプレッション



太田校長は「向きを変えてから加速する走り方で十分速いので、誰でも高性能を引き出せる」と語り、砂子講師は「ハンドリングが素直で扱いやすい」とのことだった。斎藤講師は「今のAMGが考えているスバルタンなスポーツカーの方向性。緊張感があるものだけがスポーツカーではないことを示している」と語ってくれた。



会場は袖ヶ浦フォレストレースウェイ



都心からクルマで約1時間というアクセスのよさが特徴。砂子講師は座学にて「コーナーでは頑張らない。アクセルは踏めるところで踏む。そして、減速すべきところで確実に減速すれば安全」とレクチャー。



池沢先生も参戦

太田校長の古くからの友人である漫画家の池沢さんは今回が3度目の参加。8月1日も愛車のボルシェ 911 カレラSでスパタイGPシリーズ第4戦 (同日に併催) に賞典外としてエントリー。



スパタイGP 2015年シリーズ 第4戦

協力●ブリヂストンタイヤジャパン/メルセデスベンツ日本/富士重工業/FCAジャパン 企画コンディショニング●ドライ

SUPER TIMEATTACK Grand Prix



Injured ZERO プロジェクト Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with Mercedes-Benz の研修プログラムとして、スパタイGP 2015年シリーズ 第4戦が開催された。クラス分けが刷新されたこととハンデ制導入により、これまで以上にエキサイティングな走行を楽しめるようになったスパタイGP。一周年を以て、クルマとドライバーが互いだけ本領を発揮できるかを毎戦懸っている。ドライバーコンディションはもちろん、精神力や集中力も競うという、まったく新しいタイプのモータースポーツだ。



排気量2200cc 以上～3200cc 未満 (ターボ併装1.5) のスポーツカーによる ST3000 クラスに、御田秋生選手のドライブで参戦したTEZZO 4CがST5000 クラス2位のケイマンSにも匹敵する好タイムをマークし、賞典外ながら見事 ST3000 クラス1位となった。

2015年シーズンもスパタイGPに協賛しているブリヂストンタイヤジャパンから、POTENZA 賞 (審査員特別賞) として、POTENZA RE-71R が贈られる。マナーや成長度合いなど、速さだけではなく総合的に判断し、受賞者を選定する予定。



ST5000 クラスは、フェラーリ F430 の御田選手が1位、ボルシェ 911 カレラス の池沢さんが2位 (賞典外) に入賞。ST3000 クラスは、TEZZO 4C で参戦の御田秋生選手が1位 (賞典外)、スバル・インプレッサ WRX STI スペックC の眞選手が同率1位。ST2000 クラスは、アルファロメオ 159 2.2JTS の佐藤選手が1位。アルファロメオCUP を獲得した選手たちにはT シャツとトートバッグ、スバルCUP を獲得した選手たちにはスポーツタオル、メルセデス・ベンツCUP を獲得した木村選手 (SL63 AMG) たちにはSLS AMG のミニカーが贈られた。